



西東京ボランティア市民活動センター

ぼらんていあ 倶楽部

平成 19 年 9 月 1 日 第 39 号

〒188-0011

西東京市田無町 5-5-12 田無総合福祉センター

TEL 042-466-3070 FAX 042-466-3555

E-mail info@nishitokyo-vol.jp

Website http://www.nishitokyo-vol.jp

月曜日～土曜日 8:30～17:00

日曜日・祝祭日・年末年始休み



田無店 9 月 3 日オープン



環境まちづくり NPO エコメッセは自然との共生を優先したまちづくりを实践し、環境に負荷をかけない循環型社会をつくりだす環境まちづくりを目指しています。緑が豊かで、誰もが歩きたくなる街並みや、自然エネルギーの普及で環境負荷のない暮らしの実現を目指します。11 番目の「リユース（再利用）ショップ」が田無町にオープンします。

* 持続可能な地域社会を作りたい *

エコメッセのリユースショップでは、提供してもらった衣類や雑貨などをリサイクルするだけでなく、その売上金の一部をその地域での活動に還元。環境活動は、太陽光から電気を作るパネルの設置、雨水利用を推進する活動、緑を増やすための活動、ヒートアイランド現象を和らげる緑のカーテン設置など様々。田無店はその中でも「水と緑を守る・増やす」活動の支援をする。



力を合わせて改装中

田無店に大きく係わっているのがエコメッセの理事でもある野木たかねさん。生活クラブなどさまざまな活動をしてきたが、「まちづくりの拠点が欲しい」という野木さんの思いと、地域で活動したい人がいればその思いをサポートするというエコメッセの思いがひとつになり、今回の出店が決まった。野木さんの活動の源はある人が言った「この地球は未来からの預かりもの」と言う言葉。「少しでもまともな地球」を未来に残すために、限りある地球環境と資源を大切に使いしていきたい。この思いを伝え、実践するためには活動拠点が必要だった。大きなことはできないけれど自分たち一人ひとりが意識し「ほんの少し」行動することで大きく変わる。きっかけは「自分が得すること」でいい。「得をしながら環境にもやさしい」そんなことを提案していきたい。一人でも多くの人に「ほんの少し」を知ってもらおうきっかけとして、古着を再利用する手作り講座なども検討中。

「田無店にはいろいろな人が世代を超えて集える場所になってほしい。それと同時に地球に優しい暮らし方の情報を発信する窓口でもありたい。」と野木さん。

西東京市でもごみの有料化が始まります。あわてて捨てるのではなく、未来のことを少し考えてみてはいかがでしょうか。

野木さんからの誘い



私たちと一緒に地域で活動してみませんか。お店のお手伝いなどをしてくださるボランティアさんも募集しています。

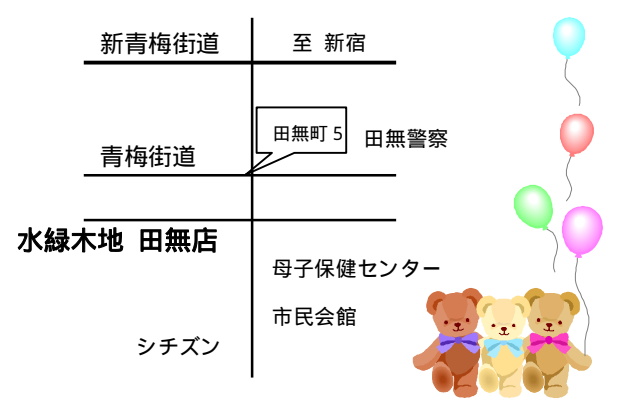
一緒に「ほんの少し」を始めましょう。

不用品の提供にご協力ください
ご家庭で使わなくなった物がありましたら、ご提供ください。

- ・衣類は洗ってある季節のもの
- ・寝具・下着（未使用のみ）
- ・本・食品・化粧品・生き物は不可

受け取り方法などをご相談ください。

《問合せ》エコメッセ 水緑木地 田無店
西東京市田無町 6-16-16 TEL 042-451-0228
月曜日～土曜日 11:00～18:00（祝日を除く）
ホームページ <http://www.npo-ecomesse.org>



傾聴ボランティア講座受講生募集

相手の孤独な思いや不安な気持ちに寄り添って、話に耳を傾ける傾聴ボランティアの養成講座を開催します。「自分自身を知る」ことから始め、話を聴くとはどういうことかを実際に体験しながら、カウンセリングの基本である「傾聴」の技法を学びます。



日時 10月3日～12月12日(11月28日を除く毎週水曜日)9:30～11:30 他に体験実習あり

会場 田無総合福祉センター会議室

対象 全回出席し、講座修了後にボランティアとして登録をし、毎週または月2回程度活動できる方

定員 30名(応募者多数の場合は抽選)

参加費 7,000円(別途ボランティア保険代300円)

講師 岡田 弘子氏

申込み 往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・電話番号・講座名・参加動機を明記し、9月10日(月)(必着)までに下記へお送りください。

〒188-0011 西東京市田無町5-5-12 田無総合福祉センター4階 西東京ボランティア・市民活動センター TEL 042-466-3070

申込み往復はがきに記載された個人情報は、本講座の運営管理のみに利用させていただきます。なお、受講決定者の氏名、住所は本講座の資料として講座受講者名簿を作成し、受講者へ配布いたします。

夏ボラ報告



例年以上の猛暑の中、7月21日より、「夏!体験ボランティア西東京2007」を実施しました。89の施設・団体の皆様のご協力で小学生34名を含む145人がボランティア活動を体験しました。2年



ゲームに負けると・・・

続けて参加した小学生もいて、ボランティア活動が小学生にも身近になり始めたのだと嬉しく思いました。今年の経験を活かし、ボランティア活動に積極的に参加してもらえれば嬉しいです。

ご協力いただいた施設・団体の皆様ありがとうございました。

《参加者の感想》

私は保育科に通っているのですが、子どもに関わるボランティアをしました。保育園で子ども達に「先生」と呼ばれて頼られるのは凄く嬉しいです。帰る時に「先生明日も絶対来てね～」と



朗読にも挑戦(片平さん)

と言われると本当の先生になった気分になります。初めて行く所などは凄く緊張するけれど、ボランティアを受け入れて下さる方々が優しく教えてくれるので楽しくボランティアが出来ました。

また来年も参加したいです。短期大学1年 片平沙也加

【はじめての一步手前講座 Part 2】

受講者募集

ボランティア活動をはじめてみたい!でも...

ためらっているあなた。3日間であなただが変わる!これなら自分にもできるかも...。この講座をボランティア活動の第一歩を踏み出すきっかけにしましょう。

日時 9月25日(火)・26日(水)・27日(木)

14:00～16:00(26日は体験先により時間は異なる)

会場 田無総合福祉センター(26日は体験先)

対象 3日間参加でき、講座終了後、ボランティアとして登録をし、ボランティア活動を始めてみたい方

定員 20名(定員になり次第締め切り)

参加費 1,000円(資料代、保険代含む)

内容 知的障がい児に関する活動とは... 「心身障害者施設」でボランティア体験してみよう ボランティア活動を始める前に知っておきたいこと

申込み 9月15日(土)より電話で申込み

(日曜日祝日を除く9:00～17:00)

西東京ボランティア・市民活動センター

TEL 042-466-3070



助成金情報



財団法人 大和証券福祉財団

第14回(平成19年度)ボランティア活動等助成

応募資格: ボランティア活動を目的とした団体・グループ。学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。(申込みに際しては、社会福祉協議会・共同募金会等の推薦が必要) 応募課題: 特に在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボランティア活動 助成金: 1件あたり30万円を上限。総額5,000万円(内500万円は災害時ボランティア活動に対する助成) 応募締切: 9月15日(土)(当日消印有効) 助成対象期間: 原則、平成20年1月～12月の活動に対して助成

応募方法: 所定の申込書により郵送にて応募 申込書請求: 申込書は下記財団へ電話又はファックスにて請求。ホームページからも入手可能。

http://www.daiwa-grp.jp/branding/kouken/dsf_info2007.html 申込書送付先: 〒103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル 財団法人 大和証券福祉財団 事務局

(TEL 03-3665-5147 FAX 03-3662-0495)



実習を通じて 斉藤恵美さん

西東京ボランティア・市民活動センターでは実習生を受け入れています。実習生、斉藤さんの実習感想です。

私は、西東京ボランティア・市民活動センターでの実習で、主に夏体験ボランティアの業務に携わせて頂きました。特に、活動先の取材では、市内の多くの施設訪問に同行し、ボランティアさんが楽しそうに活動している様子を多く見ることが出来ました。

ボランティアセンターは、ただ活動先を紹介するのではなく、ボランティアをしたい人の立場に立って、その人に合った活動、求めている活動を紹介します。

私は、体験ボランティアの参加申し込みの受付をした時、どの施設がどんな特徴を持っているのか、また、どこに位置しているのかなどの知識がなく、丁寧に活動先を紹介することが難しかったのですが、取材を通して、活動者の声や活動の実際を自ら確認させて頂いたことで、ボランティア活動を紹介するにあたって、活動を希望されている方の希望を丁寧に踏まえるだけでなく、地域を知っていることはとても大切なのだということを実感しました。また、ボランティア・市民活動センターの職員さんは、こうして地域の活動先を把握しているのだなと思いました。

ボランティア・市民活動センターの取り組みは、他にも様々なものがありますが、すべて市民の視点や立場に立って行われているものなので、とても身近に感じることが出来ました。この取り組みを多くの市民の方に知ってもらい、ボランティア・市民活動センターとともに「地域」を考えてほしいと思いました。



武蔵野大学
社会福祉学科3年
斉藤 恵美さん

INVITATION

摩耶祭へのお誘い



斉藤恵美さんも所属している、武蔵野大学社会福祉学会では、「地域交流」をテーマに調査し、10月26日(金)~28日(日)に行われる摩耶祭で発表します。内容は、地域交流があることによる利点、ないことによる問題点の調査と、地域交流の手段として活用できる、地域のサロン、交流の場を調べ、「サロンマップ」にします。ぜひ、一般公開日となる10月27日(土)28日(日)に摩耶祭にお越しください。武蔵野大学(西東京市新町 1-1-20)

西東京ボランティア・市民活動センターも摩耶祭にわたあめ販売で参加します。サロンマップを見た後、わたあめも食べにいらしてください!!



めいてんさがし隊 たい



Original Handmade Bag Kraków

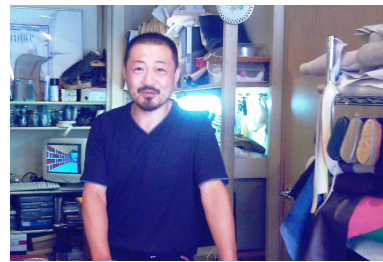
「クラクフ」は、西武柳沢北口商店街にある手作りかばんのお店。白木を基調にした明るい店内にはバッグや靴、お財布などの小物類がたくさん並べられている。

バッグはすべて店主の橋本さんがお店奥の工房で型紙から作るクラクフオリジナル。バッグ販売の営業マンだった橋本さんは、いつか自分で作ったものを売りたいと考え、8年前実家の靴店を改装してこの店をオープンした。「流行にとらわれずに毎日愛着をもって使ってもらえるバッグに、お金ではない精神的な贅沢を感じて欲しい」と橋本さん。お客様の希望に応じて世界でたった1つのオリジナルバッグを作ってくれる。価格は手頃で、予算にあわせてお客様と話し合いながら製作する。お財布や男性用の書類ケースなどのオーダーもできる。手入れの仕方



きれいに並べられた商品

も親切に教えてもらえ、修理も行っている。他店で購入した品の修理も相談に乗ってもらえる。卒業シーズンには6年間の思い出が詰まったランドセルをミニランドセルにリフォームもしている。思い出が少しでも多く残るように傷などを生かして作り変えてくれる。



工房内の橋本さん

革の端切れもキーホルダーやコースターなどの小物に生まれ変わる。切れ端も無駄にはしない橋本さん。

店内のディスプレイや橋本さんのソフトな語り口に、このお店に流れるゆったりとした時間を感じた。

店内のディスプレイや橋本さんのソフトな語り口に、このお店に流れるゆったりとした時間を感じた。

西東京市保谷町 3-10-16

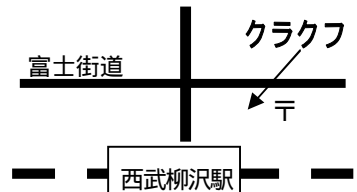
TEL 042-461-0752

<http://www.krakow-b.com>

10:00 ~ 20:00 無休

ミニランドセル 10,500 円

オーダーバッグは大きさや素材などにもよりますが、大体 30,000 円以内だそうです。



紙面づくりにご協力ください!

より良い紙面を作るためアンケート調査を行います。2008年3月発行予定の42号までの間に、ぼらんていあ倶楽部を郵送している方(期間中1回)にアンケート用紙を同封いたします。お手数ですがご回答の上FAXでご返送ください。アンケート用紙が送られない方もご意見ご感想をお聞かせください。

FAX 042-466-3555



にこにこ日記

8月×日 水曜日の午後

街なかサロン「にこにこ」は7月31日をもって一旦シャッターを下ろしました。とは言え、閉鎖をした訳ではありません！

街なかサロン「にこにこ」はもともと西東京市の産業振興課が商店街の活性化を図る目的で開き、伏見通り商店会が運営をしてきました。この7月で西東京市との契約が切れましたが、西東京市社会福祉協議会がふれあいのまちづくり事業の拠点として「にこにこ」を引き継ぐことになりました。できるだけ今までの形態を変えずに、さらに今まで以上に商店会や地域の方々に愛される「にこにこ」にしたいというのが、ふれあいのまちづくり事業担当者の想いです。9月に運営委員会が開催され詳しい運用が決まります。

水曜日の午後は今までどおりボラセンスタッフがお待ちしています。これからも、いえ、今まで以上に「にこにこ」をよろしくをお願いします。😊

西東京ボランティア・市民活動センターは、にこにこを地域の拠点として、生活するうえでのさまざまな地域課題を皆さんに知っていただき、講座開催などで課題解決に向けて一緒に考えていきます。水曜日の午後職員が市民活動に関する相談も行っています。

にこにこ内覧説明会開催

「にこにこ」は8月1日より、商店会の運営から、西東京市社会福祉協議会が引き継いでいます。「カフェうたたね」(武蔵野大学学生開設喫茶)も引き続き開店します。

西東京市社会福祉協議会では、この拠点を使得って地域交流や福祉活動をしたい方、またお手伝いいただける方を募集しています。「にこにこ」を憩いの場・集いの場として、大いに活用していただきたいと思っています。

10月5日(金)10:00から内覧説明会を開催しますので、お気軽にお立ち寄りください。

問合せ 西東京市社会福祉協議会 地域福祉推進係
TEL 042-438-3771



ぼらんていあ倶楽部を置いていただけませんか？

市民の皆様幅広くボランティアや市民活動の情報を提供するため、ぼらんていあ倶楽部の設置場所を探しています。ご協力いただけるお店や施設がありましたら西東京ボランティア・市民活動センターまでご連絡ください。

***ぼらんていあ倶楽部は市内の次の施設、機関でも入手できます。ご利用ください。**

西東京ボランティア・市民活動センター(ウェブサイトからもダウンロードできます) 西東京市社会福祉協議会 市役所 郵便局 公民館 市民会館 図書館 地区会館 老人福祉センター 福祉会館 消費者センター こもれびホール ふれあいセンター 東伏見コミュニティセンター 魚梅 ファミリーマート保谷中町店 歯科医院 マックスバリュ田無芝久保店 田無ファミリーランド 西武信金田無支店 街なかサロン にこにこ 田無自動車教習所 グッドケア西東京 東京めぐり農協 喫茶カルディ ワイワイプラザ flowershopp+p



ボランティア募集

シャローム東久留米

特別養護老人ホームで入所者へ入浴後の整髪・靴下をはかせてくださる方を募集しています。活動日や時間は相談の上決定します。

日時 月曜日～土曜日 10:00～12:00
場所 シャローム東久留米(東久留米市南沢 5-18-36)
問合せ 042-467-1561 担当 松縄(まつなわ)

車椅子サポーター

味の素スタジアムで行われるFC東京 VS 清水エスパルス戦に来観された車椅子の方の介助(観客席・トイレ・売店などへの移動の際のサポート)のボランティアを募集しています。

日時: 9月23日(日) 10:50～17:00
(集合 10:30～10:50・キックオフ 14:00)
場所: 味の素スタジアム(調布市西町 376-3)
条件: 15歳以上(高校生以上)・経験不問



サポートハウス年輪

デイサービス利用者の台所やデイルームでの見守りをしてくださる方を募集しています。活動日などは相談の上。

日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所 サポートハウス年輪(西東京市田無町 5-4-8)
問合せ 042-466-4984 担当 榎本



参加者募集



介護予防体操参加者募集

『一步一步』は、高齢者の健康づくり、仲間づくりの場。気軽に参加してください。気張らず、無理せず、一緒に体を動かしましょう。

日時 9月12日(水)26日(水)10月10日(水)9:30～11:00
場所 老人憩いの家 おあしす(西東京市南町 3-18-40)
参加費 1回 500円
その他 タオル・飲み物持参の上、運動のできる服装でご参加ください。
連絡先 090-7730-6307(江口) 080-5008-1960(大森)

西東京ボランティア・市民活動センターでは、ブログで助成金情報やイベント情報などをお知らせしています。掲載情報も募集中です。http://www.nishitokyo-vol.jp/

西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会
9月11日(火)10月9日(火)19:15～21:00 傍聴希望の方は開始10分前までにおいでください。西東京ボランティア・市民活動センター田無活動室(田無総合福祉センター4階)

